

ARによる操作対象指示技術の検証

AR（拡張現実）技術で現場での操作をサポートします。

背景・目的

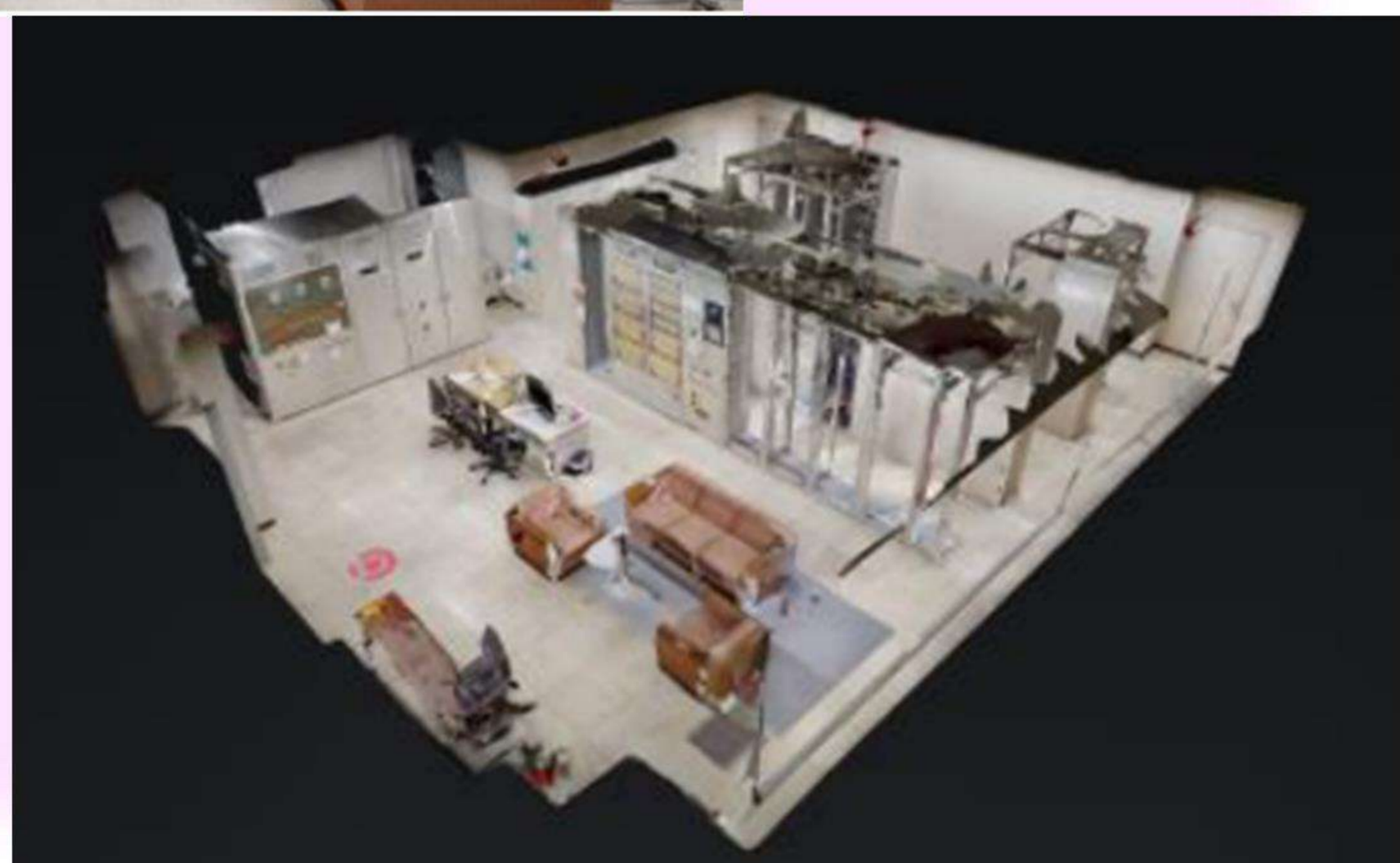
- 人口減少による要員減少やベテラン社員の退職に伴う若年齢化といった労働力の変化に対する解決方法の一つとして、AR (Augmented Reality: 拡張現実) 技術を用いた業務支援が注目されている。
- ARの表示精度の確認や操作手順をARで作成する際の技術的な課題を抽出・検討する。

特長

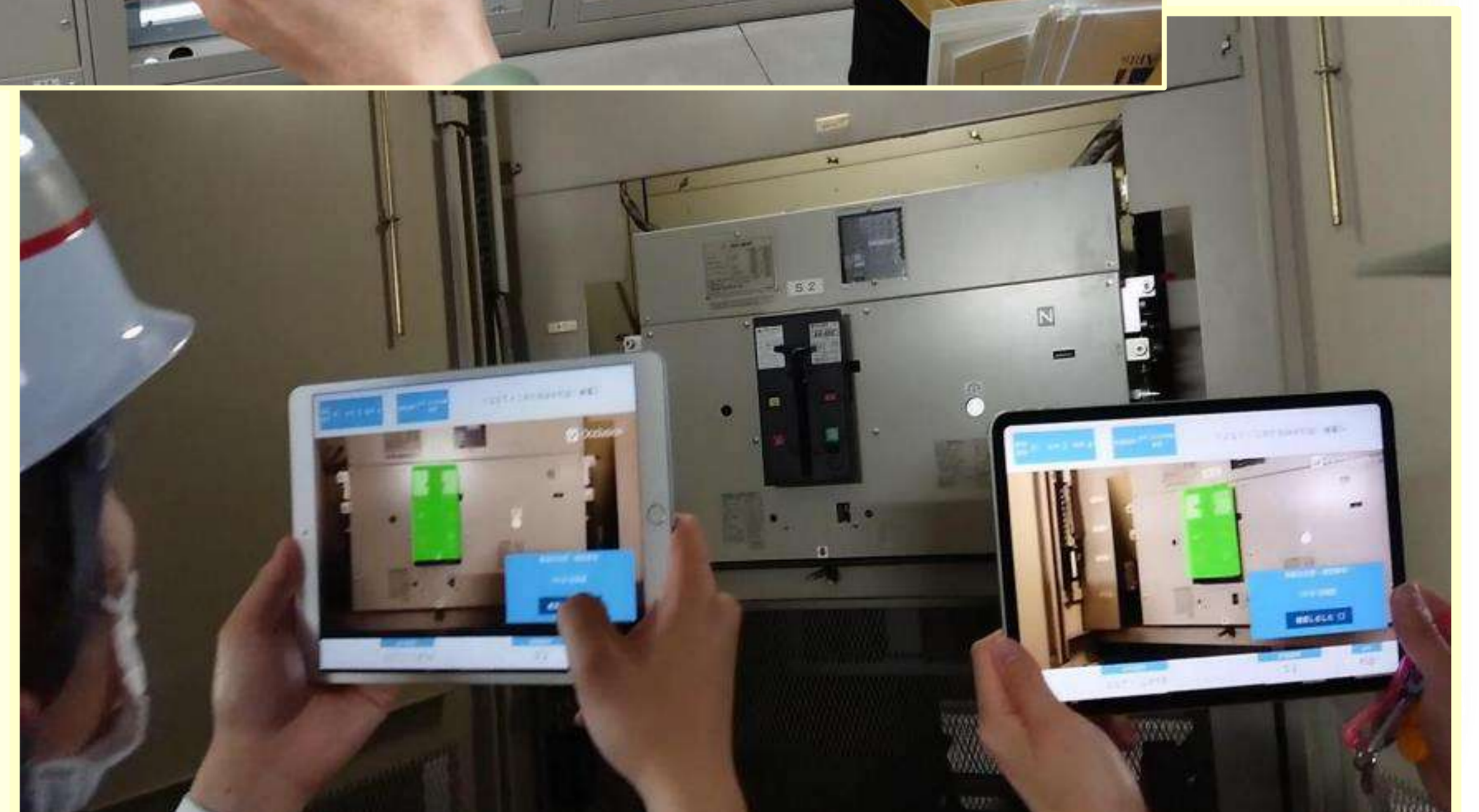
- 操作手順に従い、次の操作対象や操作前後の確認事項をARで表示可能
- 様々なデバイスで利用可能 (iPad、Microsoft HoloLens等)
- 3Dスキャナで撮影したデータから作成したモデルをもとに空間認識を実施
- 部分的に撮影データを差し替えることで、設備取替や撤去にも対応可能

用途

- 対象誤認などによる事故発生の抑制
- 操作にかかる人工削減



3Dスキャナによるモデル化



現地テストでのAR表示

開発者の ひとこと

最新技術でアシストすることにより、操作の確実性・安全性を向上させるための適用性評価を行っています。研究により電力の安定供給・作業安全に貢献できるよう、鋭意取り組んでいます。